

2023年1月31日

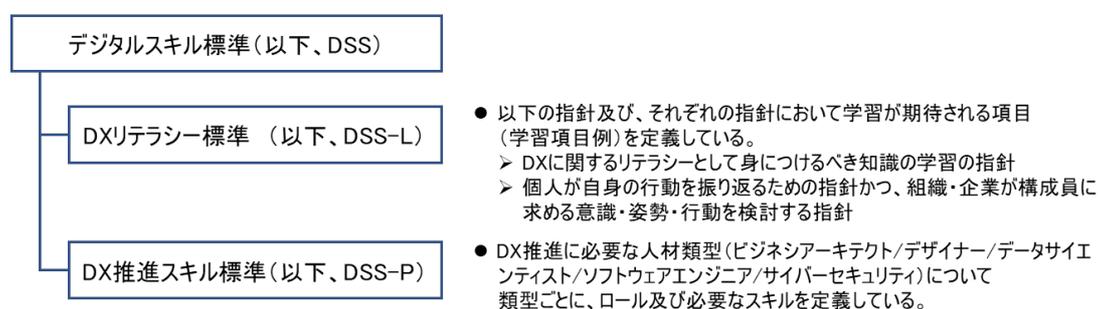
プレスリリース

一般社団法人 iCD協会

デジタルスキル標準 (DSS) に関連した iCD 協会の対応について

「デジタルスキル標準 ver.1.0」が、経済産業省／独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) より 2022 年 12 月 21 日に発表されました。その構成は次の通りです。

「デジタルスキル標準 Ver.1.0」より デジタルスキル標準の構成



iCD 協会 (以下、弊協会) では、株式会社 NTT データユニバーシティのご協力の下、SFIA Ver.8 (以下、SFIA 8) をベースとしたフレームワーク「Wings II」を既に提供しています。

このたび弊協会では、「デジタルスキル標準 ver.1.0」における DX を推進する人材を対象とした「DX 推進スキル標準 (以下、DSS-P)」に対して「Wings II」との関連性を整理しました。つきましては「DSS-P と Wings II の対応マップ」の提供を開始致します。

また、DSS-P に関連した i コンピテンシディクショナリ (以下、iCD) のタスク対応やスキル強化等、弊協会の今後のサポート予定についてご案内致します。

〈注〉Wings II、並びに SFIA については、2022 年 5 月 9 日付けの弊協会プレスリリースを参照ください。

1. DSS-P と Wings II の対応マップを公開

DSS-P と Wings II の関係性を示した対応マップを「Wings for DSS」の名称にて提供致します。そのイメージは次の通りです。

Wings for DSS (DSS-P と Wings II の対応マップ)

		ビジネスアーキテクト			デザイナー			データサイエンティスト			ソフトウェアエンジニア				サイバーセキュリティ	
		ビジネスアーキテクト (新規事業開発)	ビジネスアーキテクト (既存事業の高度化)	ビジネスアーキテクト (社内業務の高度化・効率化)	サービスデザイナー	UX/UIデザイナー	グラフィックデザイナー	データサイエンティスト プロフェッショナル	データサイエンティスト ストラテジスト	データエンジニア	フロントエンジニア	バックエンドエンジニア	クラウドエンジニア /SRE	フィジカルコンピューティング エンジニア	サイバーセキュリティ マネージャー	サイバーセキュリティ エンジニア
セキュリティマネジメント	情報セキュリティ	d	d	d	d	d	d	d	d	d	c	c	d	d	a	b
	情報保証	b	b	b	c	d	d	b	b	b	c	c	c	c	a	b
	脆弱性調査	c	c	c	c	d	d	c	c	d	c	c	c	c	a	b
リスクマネジメント	ガバナンス	b	b	d	c	d	d	c	d	d	d	d	d	d	c	d
	リスク管理	b	b	d	c	d	d	c	d	d	d	d	d	d	c	d
	監査	b	b	d	c	d	d	c	d	d	d	d	d	d	d	d
クオリティマネジメント	品質管理	b	b	c	b	b	c	b	c	c	b	c	d	c	c	d
	測定・検証	d	d	d	b	b	d	b	b	d	b	d	d	d	d	d
	安全性評価	c	c	c	c	d	d	c	c	c	c	c	c	b	c	b
ビジネスオペレータ	戦略企画	a	a	a	b	d	d	b	c	c	d	d	d	d	b	c
	情報戦略	a	a	c	c	d	d	c	d	b	d	c	d	d	c	c
	投資管理	a	a	d	b	d	d	b	d	d	d	d	d	d	b	c
	サステナビリティ	a	a	c	b	d	d	b	c	b	d	c	c	c	a	b
	ビジネス状況分析	a	a	d	b	d	d	b	d	d	d	d	d	d	b	c
	要件定義・管理	a	a	c	a	a	d	b	b	c	b	b	b	a	c	b
	ビジネスモデリング	a	a	a	b	d	d	b	c	c	d	d	d	d	b	c
R&D スペシャリスト	組織能力開発	a	a	a	b	d	d	c	c	c	d	d	d	d	b	c
	ソリューションアーキテクト	a	a	d	b	d	d	b	c	d	d	d	d	d	c	d
	最先端技術モニタリング	a	a	c	c	d	d	c	c	b	c	b	c	b	c	b
デジタルビジネスマネージャ	調査	a	a	d	b	d	d	b	d	b	d	d	d	d	d	b
	ポートフォリオ/プログラム管理	a	a	b	b	d	d	b	d	d	b	b	b	d	b	d
	フラグメント管理	a	a	d	b	c	d	c	c	c	b	c	c	c	b	c
コンサルタント	ビジネスの管理/運営	a	a	a	b	c	d	b	c	c	b	c	c	c	c	c
	コンサルティング	b	b	c	c	c	d	c	c	b	c	b	c	c	c	b
	ユーザーの調査	b	b	c	a	a	b	b	c	c	a	b	b	b	c	b
サービスデザイナー	UX/UI	b	b	d	b	a	a	d	d	d	a	b	b	b	c	a
	手法およびツール	d	d	d	c	d	d	c	c	b	a	a	a	b	c	a
	システム開発管理	c	c	c	d	c	d	c	c	b	a	a	b	b	d	b
ITアーキテクト	ライフサイクルエンジニアリング	a	a	c	c	d	d	c	d	b	d	c	d	d	c	b
	システム設計/統合/構築	c	c	c	b	a	c	c	c	a	a	a	a	a	b	a
	ハードウェア設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プロジェクトマネージャ	安全工学	c	c	c	c	d	d	c	c	c	c	c	c	a	a	b
	プロジェクト管理	b	b	b	c	c	d	b	c	c	b	b	b	c	b	c
	アジャイル体制の構築と合意	b	b	b	c	c	c	b	c	c	b	b	b	c	b	c
スクラムマスター	スクラム実施支援	c	c	c	c	c	d	c	c	b	a	a	a	b	d	b
	ソフトウェア構成	d	d	d	d	c	d	d	d	b	b	a	a	b	b	a
	ネットワーク設計	d	d	d	d	c	d	d	d	b	b	a	a	b	b	a
ITスペシャリスト	無線エンジニアリング	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	b	d	b
	データモデリング/設計	d	d	b	c	d	d	a	b	a	b	b	b	b	b	c
	データ/データベース管理	d	d	d	c	d	d	a	b	a	b	a	a	b	b	a
アプリケーションスペシャリスト	リアルタイム/組み込みシステム開発	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	b	d	b
	ソフトウェア設計	d	d	d	d	c	d	d	d	a	a	a	a	b	d	a
	プログラミング/ソフトウェア開発	d	d	d	d	c	d	d	d	a	a	a	a	b	d	a
データサイエンティスト	データサイエンス	d	d	d	d	d	d	c	a	c	c	c	c	c	c	c
	データエンジニアリング	d	d	d	d	d	d	c	c	a	c	b	b	c	c	c
	マシンラーニング	d	d	d	d	d	d	c	a	c	c	c	c	c	c	c
計算科学スペシャリスト	ビジネス・インテリジェンス	b	b	c	c	d	d	a	c	c	c	c	c	c	b	c
	科学モデリング	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	数値解析/高性能計算	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コンテンツマネージャ	コンテンツの作成/公開	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ナレッジマネジメント	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	セキュリティオペレーション	d	d	d	d	d	d	d	d	c	c	c	a	c	b	a
セキュリティスペシャリスト	脆弱性評価/侵入テスト	d	d	d	d	d	d	d	d	c	c	c	a	c	b	a
	デジタルフォレンジック	c	c	c	c	d	d	c	c	b	c	c	a	c	a	a
	技術管理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ITサービスマネージャ	施設管理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	サービス管理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	パフォーマンス管理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒューマンリソースマネジメント	エンployee・エクスペリエンス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	専門性開発	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ヒューマンリソース管理	d	d	d	d	b	d	b	b	b	a	a	b	b	d	b
エデュケーション	能力開発	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認定計画運用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サプライズマネジメント	調達	b	b	b	d	d	d	b	d	d	b	b	b	d	b	d
	サプライヤー管理	b	b	b	d	d	d	b	d	d	b	b	b	d	b	d
	マーケティング	b	b	d	b	b	b	c	d	d	d	d	d	d	c	d
セールス	契約管理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	販売	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カスタマーサービス	顧客サービスサポート	b	b	d	b	b	b	c	d	d	d	d	d	d	c	d

〔補足説明〕

- DSS-P では、その人材類型／ロールに必要なスキルは「共通スキルリスト」のなかで、その重要度が定義されています。
- 弊協会では、DSS-P の共通スキルリストに記載されている技術的側面のスキル項目「ビジネス変革／データ活用／テクノロジー／セキュリティ」につき、Wings II の専門分野（SFIA 8 欄）に示したカテゴリとの対応付けを行いました。
- DSS-P では、上記のスキル項目における重要度の基準を4段階（a～d）で示されていますので、Wings II との対応付けも4段階のヒートマップにて示しています。

2. DSS-P と iCD タスク等における関連性を整理

1) iCD タスクとの対応

Wings II の SFIA 8 をベースとした専門分野は、iCD タスクと紐付けられています。よって、DSS-P の人材類型／ロールに対応させて iCD タスクを表記することは、既に可能となっております。

その特長は次の通りです。

- グローバルなスキル標準となる SFIA 8 を介しているため、対応付けられたタスクは、その必要性の実績度が高い。
- DSS-P における技術的側面のスキルの重要度基準（a～d の4段階）の広がりに応じて、対応した iCD タスクも展開可能な構造となっている。

〔補足説明〕

DSS-P に対応する iCD タスクの提供にあたっては、弊協会まで個別にお問合せをお願い致します。

2) iCD スキルの見直し

DSS-P では、先端技術（メタバース、スマートコントラクト、デジタル通貨 など）の習得の必要性も記されています。

弊協会では、これらを参照して、iCD スキルディクショナリの見直しに取り組んで参ります。

3. DSS-P の活用に向けて

「デジタルスキル標準 ver.1.0」では「DX 推進スキル標準の活用イメージ」が示されています。

その活用イメージにおいて、DSS-P と iCD タスクの関連性を整理したことにより、弊協会では次のようなサービスが可能と判断しております。今後、順次対応して参りますので、ご期待ください。

「デジタルスキル標準 ver.1.0」の記載より		弊協会による今後のサービス例
活用主体	活用イメージ	〈注〉提供については弊協会まで個別にご相談ください。
企業・組織	社会の変化を踏まえ、自社に必要な DX を推進するための戦略を策定し、スキル標準を参考に、自社の DX 推進に必要な人材を確保するための取組みを実行する	<ul style="list-style-type: none"> ● DX 推進に必要な人材のスキル・知識が自社でどれくらい足りていないかを、既存 iCD タスクデータを元に DSS-P のフレームワークにて可視化する。 〈その先の効果として〉 →必要な人材を育成するために、DSS-P 視点での研修を活用できる。 →必要な人材を採用するために、DSS-P 視点での職務記述書も提示できる。
個人	所属する組織・企業の DX の方向性や、個人のキャリアを踏まえて、スキル標準を必要な知識やスキルを認識するための指針とする 自身の業務やキャリアの中での実践イメージを持ちながら、それらに関する研修コンテンツを受講する	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存 iCD タスクでの実績を元に、自身が目指すべき役割や、課せられている役割を、DSS-P のフレームワークにて可視化できる。 〈その先の効果として〉 →DSS-P 視点での職務指示に対し、対応の可能性や習得すべきスキルについて判断できる。 →DSS-P 視点での研修コンテンツに対し、その必要性を判断できる。
研修事業者	スキル習得のために必要な学習項目を示し、組織・企業や個人に向け、それらの内容の説明や、アウトプット・実践のための機会提供を行う	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存 iCD タスクで目標定義された研修コンテンツを、DSS-P のフレームワークにて提供できる。 〈その先の効果として〉 →既存の研修コンテンツが DSS-P の視点でも効果あることを可視化できる。 →DSS-P 視点での研修コンテンツ要請に対し、即応できる。

以 上

■一般社団法人 iCD 協会

本社所在地：〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-2-22 千代田ビル 5F

理事長：金 修

設立：2018 年 2 月

事業概要：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公開した「iCD (i コンピテンシ ディクショナリ)」に関する調査及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等

URL：<https://www.icda.or.jp/>

当リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 iCD 協会

担当：広報担当

Mail：icda-info@icda.or.jp

Tel：03-4530-6226